

当館職員の新型コロナウイルス感染について

1 概要

8月20日（金）、国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町）の職員1名が、新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明しました。

なお、当該職員は自宅療養中です。

2 経緯

当該職員は、8月20日（金）に同居家族の感染が判明し、同日にPCR検査を受検したところ、陽性と判明いたしました。

3 職員の従事状況等

当該職員は、国立国会図書館東京本館において国会サービスに従事しております。発症前の2週間、来館利用者及び国会関係者との接触はありません。同職員の最終出勤日は、8月19日（木）です。

同職員を含め国会サービス部門の職員は、普段からマスクを着用した上で業務に従事しているため、濃厚接触にあたる接触はございませんし、現時点で、他の職員に発熱等の症状はございません。

今後とも、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点及び職員の健康保持を最優先に、的確に対応してまいります。

●本件問合せ先

総務部総務課広報係 03-3506-3307（直通）